

イー歯トープ 8020 歯と口のハテナ

15 県歯科医師会

前回の歯周病の原因に続き、今回は基本的な治療の流れを、説明します。

①検査

プラークの付着状態、歯肉からの出血、歯周ポケット(歯と歯茎の間の隙間)の深さ、歯の動きなどに加えて、エックス線写真により歯の周りの歯槽骨の状態を検査します。特に歯周ポケットの深さは歯周治療を行う上でとても大切で、プローブと呼ばれる歯科用の物差しを使用して、その深さを調べます。これら検査は歯周病の改善程度や状態確認のために治療の節目でも行います。

定期的な検診が必要

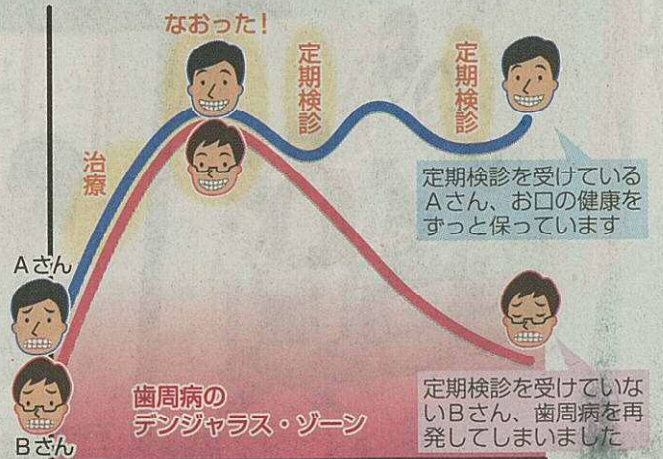
②歯みがき指導
歯周病は、生活習慣病です。古い歯石や歯茎の隙間にたまった歯石ほど取れにくく、治療で、食生活や生活習慣、正しい歯みがきの指導を受け、今までの治療が肝心です。進行して治療の習慣を見直すとともに正しい歯みがきを覚えて下さい。予防、て歯周外科治療に移行する場合治療の効果をおげるために重要なことです。

③歯石除去や外科的治療

④メンテナンス(定期検診)
歯周病の治療が一通り終わっ

歯周病の治療

— 小家 雅子



(日本歯科医師会ホームページ「テーマパーク8020」をもとに作成)



小家 雅子(こいえ・まよこ) 1967年生まれ。日本大歯学部卒。県歯科医師会 学術医療管理委員会委員。ホリデーデンタルクリニック(二関市)院長。一関市在住、同市出身。

た後で、その状態を保つために行います。痛みがなくなった、調子が良くなったからといってメンテナンスを怠ると、これまでの治療が無駄にしてしまいます。歯周病治療で、とても大切なのがメンテナンスです。毎日のお手入れのチェックや歯石除去を定期的に行います。歯周病は、状態が悪くなるほど治療期間が長くなり治療費のご負担が増えます。軽度の場合に、そして予防のために、ぜひともかかりつけ歯科医院にて定期検診を受けましょう。(月曜日に掲載します)